

図書館だより

ノートルダム学院小学校

2017.09.01 (金)

No.5



9月。昼の日差しは暑くても、朝夕は少し涼しさを感じられるようになりました。だんだん日が短くなって夜が長くなります。

9月のことを古い呼び方では「夜長月（よながづき）」と言い、略して「長月」とも言います。照明のなかった昔、人々は暗闇の中で月明かりを頼りに生活していました。月が雲にかくれたり、月の出ない夜は、空を見上げていたりしたのでしょうか。日本には、月を表現する言葉がたくさんあります。「三日月、新月、望月、名月、雨月、立待月、居待月、寝待月・・・」など、他にもさがしてみてください。

お月見をしよう

満月は、約30日ごとにやってくるのですが、中でも中秋の名月（旧暦8月15日の月）の月は格別です。空気の澄んでいる秋の満月は、光輝いて見えお月見にもっともふさわしい季節です。今年の中秋の名月は10月4日（水）です。おだんごにすすきをかざって、お月見をしませんか。



「竹取物語」のかぐや姫が月に帰ったのは中秋の名月でしたね。

夏休みには、楽しい読書ができましたか？

なつやす

夏休みには、時間を気にせず好きなだけ本を読むことができたのではないのでしょうか。あなたはこの夏休みに、どんな本とワクワク・ドキドキの出会いをしましたか。心に残る一冊、忘れられない一冊を見つけましたか？ きっと、心の友だちを増やすことができたことでしょう。ND 読書百選の本を中心に読

み進めてきた人もいないのではないのでしょうか。もうすぐ『秋の読書週間』が始まります。秋の夜長に読むのにピッタリの本がたくさんそろった図書館に、ぜひ来て下さいね。

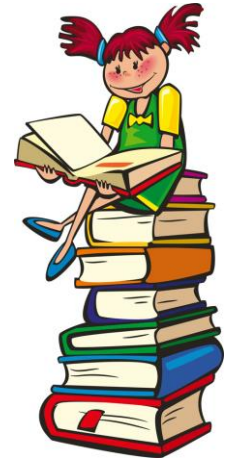
もう書きましたか？読書感想文

まず、自分にあつたよい本にであうことです。

どの本でも感想文が書けるかという、なかなかそうはいきません。本を読んでいるうちに、自分の心が強く動かされるような本がいいですね。よい本を選びましょう。

つぎにその本をよく読むことです。

くりかえし何回も読みましょう。



自分の経験と似ているところ、違っているところなどを比べてみましょう。

自分の思ったこと、感じたことを自由に書いてみましょう。

それから、もう一度あらためて考えてみてください。

読書感想文を書くということは、『自分をみつめること』なのです。

あなたにしか書けないものを書いてみてください。

宮澤賢治が亡くなられたのは1933年9月21日です。

宮澤賢治は、1896年岩手県花巻市に長男として生まれました。盛岡農林学校で、農業の勉強をやりながら、少しずつ童話を書きためました。

『注文の多い料理店』『風の又三郎』『やまなし』『銀河鉄道の夜』などたくさんの童話や詩を残して、37歳の若さで亡くなりました。賢治は、生きている間に童話作家として広く知られることはありませんでした。賢治の詩『雨ニモマケズ』はみなさんも暗記していますね。

